

2026 年 7 月 17 日

各位

会社名 インスペック株式会社
代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
(コード番号：6656 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 佐藤 保
TEL 0187-54-1888 (代表)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状評価を踏まえ、2025年7月22日に公表した内容を更新することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状評価

当社の第 38 期（2026 年 4 月期）における ROE（自己資本利益率）は 9.8% となり、当社が推定する株主資本コスト（約 10%）と概ね同水準となりました。

しかしながら、過去5年間のROEにつきましては、新規事業への開発投資及び事業撤退の影響により、第36期（2024年4月期）及び第37期（2025年4月期）において当期純利益がマイナスとなったことから、持続的に当社の株主資本コストを上回る水準には至っておりません。

一方、当社のPBR（株価純資産倍率）は、投資家の皆様から当社の持続的な成長可能性に対する期待を背景に、1倍を上回る水準で推移しております。

項目	第 34 期 2022 年 4 月期	第 35 期 2023 年 4 月期	第 36 期 2024 年 4 月期	第 37 期 2025 年 4 月期	第 38 期 2026 年 4 月期
ROE	18.6%	7.3%	△33.4%	△17.4%	9.8%
PBR	6.0 倍	5.6 倍	4.4 倍	3.1 倍	3.5 倍
期末株価	1,459 円	1,743 円	978 円	585 円	723 円
1 株当たり純資産	241.92 円	309.68 円	220.54 円	186.45 円	205.61 円
1 株当たり当期純利益	41.00 円	19.96 円	△88.34 円	△35.51 円	19.15 円
自己資本比率	28.0%	31.0%	23.6%	24.9%	22.1%
配当性向	7.3%	15.2%	—	—	—

2. 当社の方針・目標

当社は、「確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く」というパーパスのもと、AI 技術の進展を背景に、成長が続く半導体市場を事業機会と捉え、2025 年 6 月 13 日に公表した中期経営計画（2026 年 4 月期～2028 年 4 月期）の実現を目指しております。

中期経営計画の 1 年目である 2026 年 4 月期は、売上高については計画を達成したものの、利益面では計画を下回りました。2 年目以降の計画達成に向けて、AI 半導体関連を中心に技術革新が加速する半導体市場において、より高機能化する半導体パッケージングに対応した検査装置の開発及び販売強化に取り組むとともに、事業規模の拡大を見据えた生産能力の増強を図ってまいります。

これにより、売上高の伸長及び営業利益率の向上を図るとともに、内部留保とのバランスを考慮しつつ、早期の復配を目指してまいります。

また、IR 活動を一層強化し、株主・投資家の皆様との対話を通じて、当社の成長戦略及び企業価値向上に向けた取り組みへのご理解を深めていただけるよう努めてまいります。

当社は、精密基板検査装置関連事業の持続的な成長と収益力の向上により企業価値の拡大を図り、中期経営計画の最終年度である 2028 年 4 月期において、営業利益率 8%、ROE 8%以上の達成を目指してまいります。さらに長期的には、営業利益率 15%、ROE15%以上の達成を目標とし、PBR のさらなる向上に努めてまいります。

3. 具体的な取り組み

1) 中期経営計画の業績目標の達成

- ・精密基板検査装置関連事業の成長戦略を着実に実行する
- ・人的資本への投資を積極的に行い、持続的成長を支える組織力を強化する

2) 財務構造の最適化

- ・内部留保とのバランスを考慮しつつ、事業戦略上必要な開発投資を優先する
- ・早期の復配を目指すとともに、安定的かつ継続的な配当の実現に努める

3) 株主・投資家とのコミュニケーションの強化

- ・非財務情報を含めた情報開示を積極的に行う
- ・個人投資家向けセミナー等へ積極的に参加する
- ・1 on 1 ミーティングを含め、機関投資家向け説明会を定期的に開催する

以上